

平成 18 年度 第 4 回 伊勢市国民保護協議会 議事概要

開催日時	平成 19 年 2 月 6 日（火） 13：30～14：25
開催場所	伊勢商工会議所 5 階 大ホール
出席者	会長ほか国民保護協議会委員 37 名中、代理出席を含め、32 名出席
事項	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 会長の職務代理について</p> <p>(2) 伊勢市国民保護計画（最終案）について [資料 1、2]</p> <p>(3) 伊勢市避難マニュアル（案）について [資料 4]</p> <p>(4) 今後のスケジュールについて [資料 5]</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>
議事概要	<p>1 開会</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国民保護協議会委員の変更がある。伊勢市助役・亀井秀樹、近畿日本鉄道宇治山田駅長・村田耕作、三重旅客自動車協会伊勢支部長・牧田孝。 <p>2 議事</p> <p>(1) 会長の職務代理について</p> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本日の会議も、前回と同様に公開する。 阿形委員の退職にともなって不在となっていた会長の職務代理について、平成 19 年 1 月 1 日付けで伊勢市助役に就任した亀井委員を指名したいので、了承願いたい。 <p>(2) 伊勢市国民保護計画（最終案）について</p> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊勢市国民保護計画（最終案）について、国民保護法に基づき諮問するので、審議のほうをお願いする。 内容については、事務局から説明する。 <p>(資料説明)</p> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 変更点、または今までの内容について、意見、質問等はないか。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 52 ページに「海上自衛隊にあっては横浜地方総監」とあるが、これは「横須賀地方総監」である。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 指摘のとおり、訂正させてもらう。 <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊勢市国民保護計画（最終案）について、了承の方を拍手で確認させてもらいたい。 <p>(会場から拍手あり)</p>

(会 長)

- ただいまの拍手をもって、伊勢市国民保護計画（最終案）については、一部修正はあるものの、原案どおり了承いただいたものさせてもらう。

(3) 伊勢市避難マニュアル（案）について

(会 長)

- 前回の協議会では、避難マニュアルの骨子を説明したが、現在作成中の避難マニュアル（案）について改めて説明させてもらう。

(資料説明)

(会 長)

- 避難マニュアル（案）について説明をさせてもらった。意見、質問等はないか。

(委 員)

- 7ページの下に「独居の高齢者は0,000人」とあるが、何人ぐらいいるのか。

(事務局)

- 調査時期を合わせるため、現在のところまだ調べることができていない。

(会 長)

- 調査でき次第、数字を載せるということでした承願したい。
- 他に意見、質問等はないか。

(委 員)

- 病床数や電車の状況など、非常に細かく伊勢市の状況が記述してあるが、後々のことを考えた場合、時点修正していかなければならないので、作業が大変にならないよう、記述の仕方を見直してはどうかと思う。

(会 長)

- 貴重な意見をいただいた。
- 今後、平成19年度に向けて関係各課と協議をしながら詰めていくことになる。
- もし気づいた点があれば、事務局のほうに連絡いただければ幸いである。

(4) 今後のスケジュールについて

(会 長)

- 今後のスケジュールについて、事務局から説明をする。

(資料説明)

(会 長)

- 今の流れについて、発言はないか。

(意見なし)

(会 長)

- 発言がないようなので、説明した流れで今後整理をしたい。了承願いたい。

3 その他

(会 長)

- 予定の議事はすべて終了したが、何か意見があれば聞かせてもらう。

(委員)

- 毎年、自治会とともに、日本赤十字の協力も得ながら防災訓練をやっている。大湊小学校まで輪が広がり、父兄、子どもと参加してもらっている。
- 国民保護と地域防災については、「発生原因は異なるが、災害の状態及び災害への対処には類似性がある。防災のための体制、物資、資機材等は共通するものが多いことから、相互に連携し、活用する。」と県の計画にうたわれており、協議会委員として、そういった小さなことから地区を考え、防災との連携をさせたい。
- また、初穂曳きにあわせて赤十字に依頼して自分たちだけの訓練もしている。
- いろいろなことを想定しながら大湊町の住民と手をつないで、自分たちができることから訓練に取り組んでいる。

(会長)

- マニュアルを作っていく際には、住民・地域と一緒にどのように協働していくかという視点が必要なのではないかと感じた。
- 他に発言はないか。

(委員)

- 計画はマニュアルに沿って作成しており問題ないが、いざという時は地域での相互の助け合いだと聞いている。
- 実際、災害が起こったら行政が現場に行くことが困難な状況なので、災害時の基本は自助と共助であり、その後に公助がくる。
- 行政がいろいろな形で取り組む部分と、各地域で自主的に取り組む部分があるが、この計画をスタート地点にして今後よろしく願いしたい。

(会長)

- 他に発言はないか。

(意見なし)

(会長)

- 意見がないようなら、これで終わりとする。
- 本日、最終案をまとめてもらったので、先ほど説明した日程に従い、議会に報告して公表する形になる。

4 閉会